



# 消防こいわ

Koiwa Fire Station  
臨時号  
令和8年6月

【発行】小岩防火防災協会／小岩災害防止会／小岩危険物安全会 【監修】小岩消防署



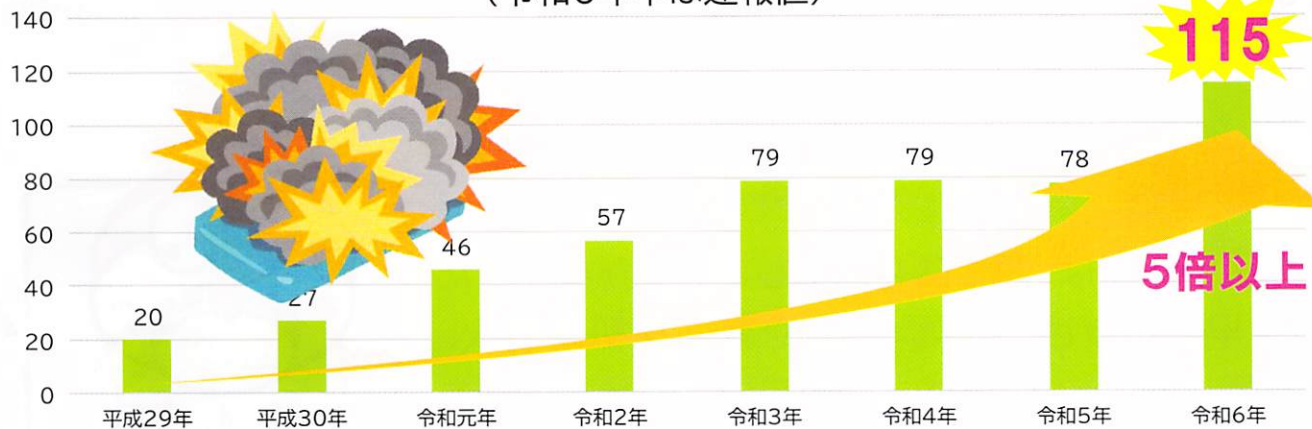
# リチウムイオン電池 関連火災

リチウムイオン電池関連火災とは、リチウムイオン電池を搭載した製品（差込みプラグ及び器具コードを除く）から出火した火災のことをいいます。



動画はこちら

住宅火災におけるリチウムイオン電池関連火災件数  
(令和6年中は速報値)



東京消防庁



# こんなときは危険

# 今すぐチェック！



- 熱のこもりやすい場所で使用している
- 膨らみ、変形している
- 過去に落下させたことがある
- 充電中や使用中に発熱することがある
- 充電できないなどの不具合がある



**一つでも当てはまる場合は火災の危険が・・・！**

【事例1】「充電中のモバイルバッテリーから出火した火災」

突然、住宅用火災警報器が鳴動し部屋を確認したところ、布団の上で充電していたモバイルバッテリーから火が出ているのを発見した。

【事例2】「外部からの衝撃により出火した火災」

テーブルに置いてあったスマートフォンに肘が当たり、床に落下した直後、出火した。



## 火災を防ぐポイント

- 1 衝撃を与えない、分解しない
- 2 燃えやすい物がない場所で充電する
- 3 指定された充電器を使用する
- 4 発熱などの異常がある場合は使用をやめ、製造業者や販売店に相談する
- 5 車内など熱がこもりやすい場所での使用は控える

### 住宅用火災警報器を備えましょう

住宅用火災警報器は、煙や熱を感知して火災が発生したことをいち早く知らせ、素早い避難や有効な初期消火、早期通報に繋げることができます。適切に設置・維持管理を行い、大切な生命・財産を守りましょう。



# 万が一火災が発生したら

- ① 火花や煙が激しく噴出している場合は、近寄らない
- ② 火花や煙の勢いが収まったら、大量の水や消火器で消火する
- ③ 大量の水で温度を十分に下げ、安全に配慮し、水没させる



焦らず、身近なものを使って消火しましょう



## Point 1

## Point 2

大量の水をかける



# 誤った廃棄方法でも火災が・・・！

住宅の中だけではなく、誤った廃棄方法によるごみ処理中の火災も急増しています。不要品を処分する際は製品の取扱い説明書をよく確認した上で、お住まいの自治体の廃棄方法に従い廃棄してください。



可燃ごみ回収中に、ごみ袋から煙！！



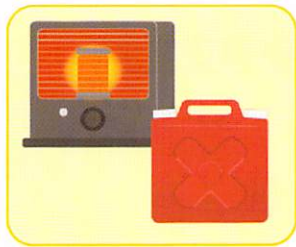
ごみ袋からバッテリーが！？

# 身の回りの危険物

身の回りにある危険物は 使い方を間違えると火災が発生する危険があります。



車の燃料  
(ガソリン、軽油)



ストーブの燃料  
(灯油)



消毒用アルコール、  
度数が高い酒類



アロマオイル、  
動植物油



スプレー缶  
(エアゾール製品)



モバイルバッテリー  
(リチウムイオン電池)



着火剤、  
固形燃料



花火

化粧品

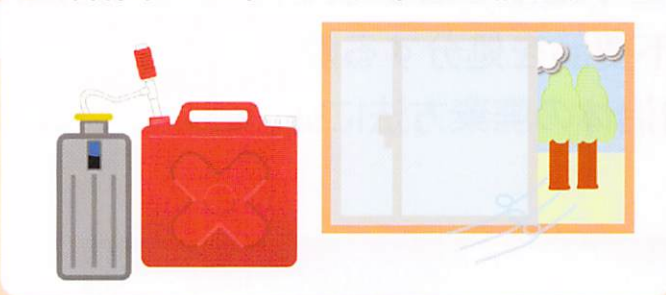
その他、危険物を含む可能性のある製品は数多くあります。

## 危険物を使用するときの注意事項!

● 火気の近くでは使用しない



● 詰替えを行う場所では換気する



● 直射日光が当たる場所に保管しない



● 自治体の分別排出ルール・指示に従って正しく廃棄



### 問合せ先

東京消防庁小岩消防署予防課

電話番号 03-3677-0119

※ 本リーフレットにおける火災統計は、東京消防庁管内の数値を集計しています。

令和8年6月発行